

凡 例

	i地区施設
	k地区施設
	i地区施設
	計画施設
	廃止施設

4) ケースB-2の施設概要

ケースB-2の施設概要を以下に示す。

表 7.6.5 ケースB-2施設概要 (I 地区他) (Q=110.0m³/日)

施設名	種類	規 模
取水施設	取水堰 (既設)	(RC) 堰堤 天幅 0.5m 長さ 14.5m 高さ 3.5m 308.0m ³ /日
貯水導水施設	導水管 (更新)	DCIP φ100mm L=240m
浄水施設	沈殿地 (更新)	(RC) W1.2m×L3.6m×H3.0m=13.0m ³ 滞留時間 3 時間
	ろ過池 (更新)	急速ろ過機 速度 120m/日 処理水量 110.0m ³ /日
送水配水施設	配水池 (更新)	(RC) W5.0m×L4.0m×H2.5m=50.0m ³ ×2 池 滞留時間 20 時間
	配水池 (更新)	(RC) W3.0m×L2.0m×H2.0m=12.0m ³ ×2 池 滞留時間 24 時間
	配水管 (更新)	DCIP φ100mm L=4,000m, φ75mm L=4,000m, PP φ50mm L=2,000m
	減圧弁 (更新)	減圧弁 φ100mm×3 基, 減圧弁 φ75mm×4 基

5) ケースB-2の事業費

ケースB-2の現況施設の整備費を算定した。

なお、ケースB-2施設概要のうち、取水施設 (取水堰) については、既存施設を使用する。

表 7.6.6 ケースB-2の事業費

I地区他

施設名称	種類	規模(容量)	管路延長 (m)	更新費用 (百万円)
取水施設	取水堰(既設)	110.0m ³ /日		—
貯水施設	導水管(更新)	DCIP φ100mm L=240m	240	12
浄水施設	沈殿池・ろ過機(更新)	110.0m ³ /日		190
送配水施設	配水池(新設)	100.0m ³		11
		24.0m ³		3
	配水管(更新)	DCIP φ100mm L=4,000m	4,000	197
		DCIP φ75mm L=4,000m	4,000	187
		PP φ50mm L=2,000m	2,000	72
	減圧弁(更新)	φ100×3基、φ75×4基		7
計				679

改 め (千円)	670,000
----------	---------

(3) ケースB-3

ケースB-3の統合計画は、ケースB-2と同様に、それぞれの地区を1水源、1浄水場からの給水とする計画であるが、原水が豊富で良質（降雨時を除く）であることから飲用水とその他用水に分離し供給するシステムとする計画である。

その他用水は、飲用水以外の用水である。

1) 統合計画諸元

計画給水量は、7.4モデル地区での水道の検討ケースと計画諸元で算定した値とする。

① 飲用水

計画給水人口：180人+65人+34人=279人

計画飲用水量：279人×50ℓ/人・日=13.95m³/日≒14.0m³/日

② その他用水

計画最大給水量：65.41m³/日+23.62m³/日+12.36m³/日=101.39m³/日

計画その他用水量：101.39m³/日-13.95m³/日=87.44m³/日≒90.0m³/日

計画飲用水量：14.0m ³ /日 計画その他用水量：90.0m ³ /日
--

2) 水源の選定

水源位置の選定は、全ての水源において安定した取水が可能であることから、最も高位に位置する1地区の既設水源をケースB-3の水源とした。

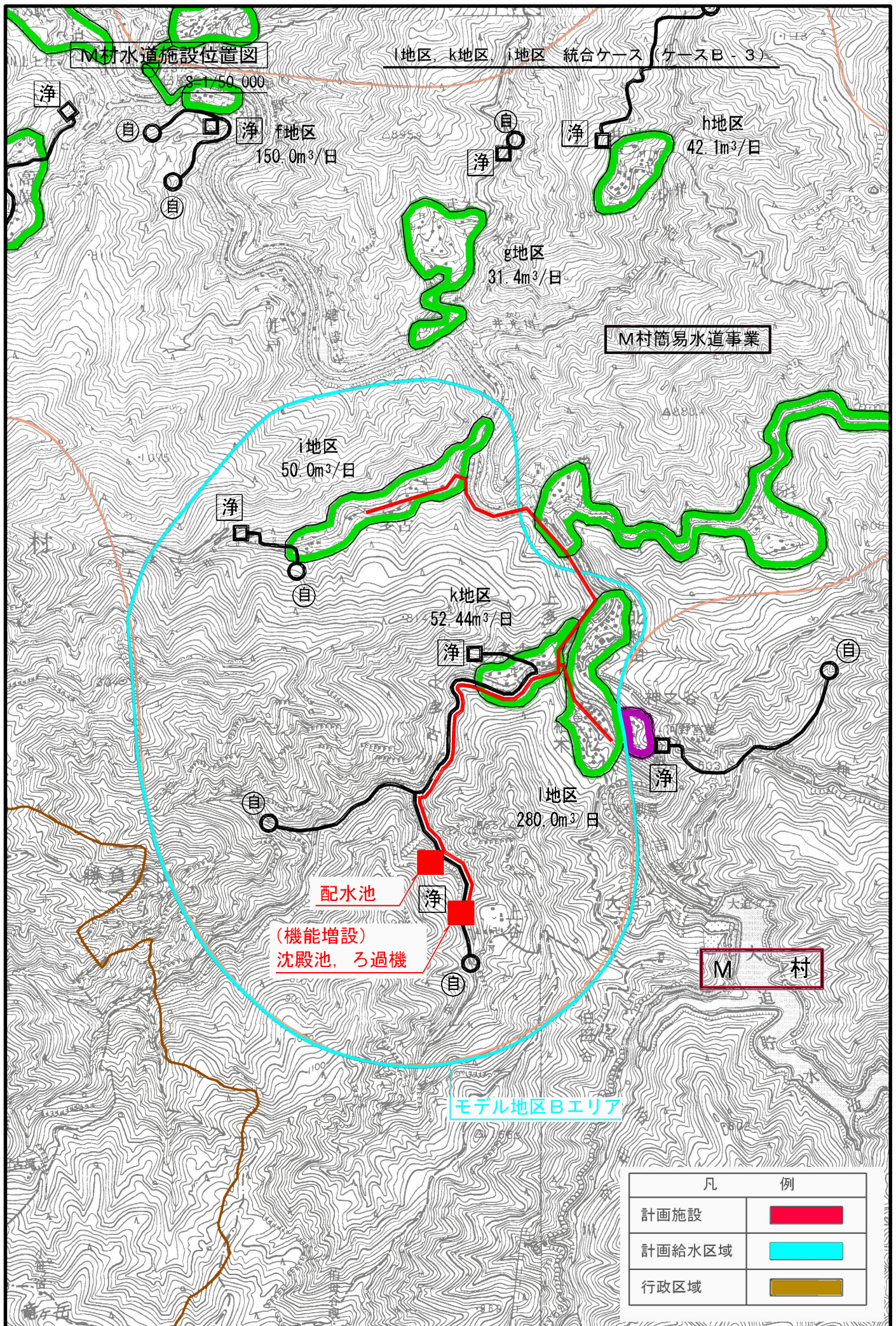
3) 浄水場の選定

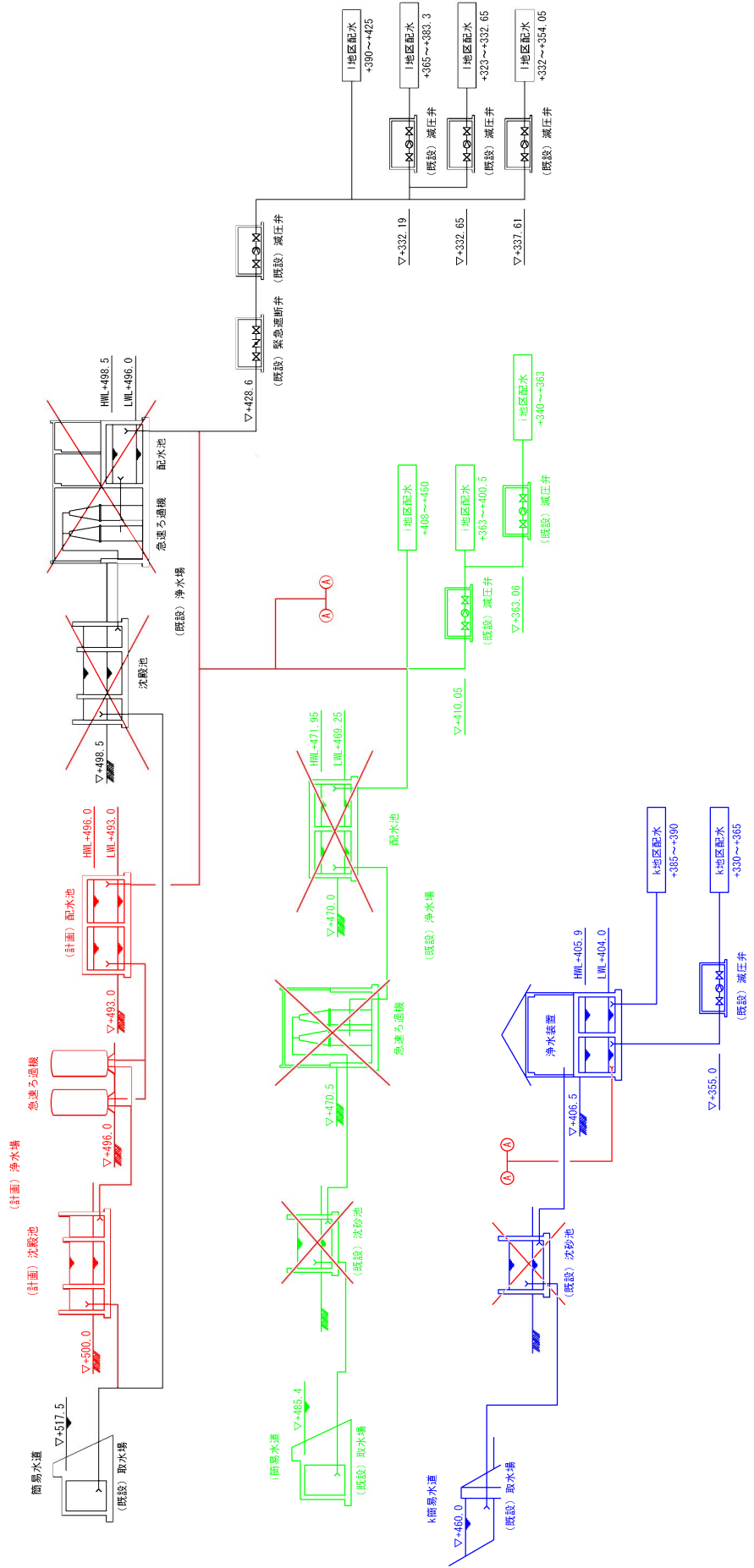
浄水方法は、水質検査結果（表7.3.8）より基準を超える項目はなく、B-1、B-2と同じで、現在と同じ急速ろ過方式とした。

浄水場の位置選定は、用地の購入の可否や水源位置と配水区域との位置および水位関係によって効率的な位置の選定が必要となる。今回は、既設の1地区浄水場を機能増設（改良）することで、用地の最小化が図れることから1地区浄水場を統合後の浄水場とした。

また、その他用水については、現在のd地区の取水とし、未処理で給水することとした。

ケースA-3における統合後の水位関係図および施設位置図を次頁以降に示す。





凡 例

■	i地区施設
■	k地区施設
■	i地区施設
■	計画施設
✗	廃止施設

4) ケースB-3の施設概要

ケースB-3の施設概要を以下に示す。

表 7.6.7 ケースB-3施設概要 (I地区他) (Q=14.0m³/日)

施設名	種類	規 模
取水施設	取水堰 (既設)	(RC) 堰堤 天幅 0.5m 長さ 14.5m 高さ 3.5m 308.0m ³ /日
貯水導水施設	導水管 (更新)	DCIP φ100mm L=240m
浄水施設	沈殿地 (更新)	(RC) W1.0m×L3.0m×H2.0m=6.0m ³ 滞留時間 12 時間
	ろ過池 (更新)	急速ろ過機 速度 120m/日 処理水量 14.0m ³ /日
送水配水施設	配水池 (更新)	(RC) W2.0m×L2.0m×H2.0m=8.0m ³ ×2 池 滞留時間 24 時間
	配水池 (更新)	(RC) W2.0m×L2.0m×H2.0m=8.0m ³ ×2 池 滞留時間 24 時間
	配水管 (更新)	DCIP φ75mm L=4,000m, φ50mm L=6,000m
	減圧弁 (更新)	減圧弁 φ75mm×3 基, 減圧弁 φ50mm×4 基

5) ケースB-3の事業費

ケースB-3の現況施設の整備費を算定した。

なお、ケースB-3施設概要のうち、取水施設 (取水堰) については、飲用水とその他用水ともに既存施設を使用することとした。

また、その他用水の管路については、現在の施設を継続使用することとした。

表 7.6.8 ケースB-3の事業費

I地区他

施設名称	種類	規模 (容量)	管路延長 (m)	更新費用 (百万円)
取水施設	取水堰 (既設)	14.0m ³ /日		—
貯水施設	導水管 (更新)	DCIP φ100mm L=240m	240	12
浄水施設	沈殿池・ろ過機 (更新)	14.0m ³ /日		103
送配水施設	配水池 (新設)	16.0m ³		2
		16.0m ³		2
	配水管 (更新)	DCIP φ75mm L=4,000m	4,000	187
		PP φ50mm L=6,000m	6,000	216
	減圧弁 (更新)	φ75×3基、φ50×4基		6
給水施設	給水管 (更新)	φ20mm		8
計				536

改 め (千円)	530,000
----------	---------